

みやざきグローバルプラン（第2期）の概要

計 画 概 要

改定趣旨等

- 世界情勢は大きく変動しており、**世界の潮流を見極め、変化に的確に対応しながら、社会・経済・産業の活性化を図ることが重要**
- 本県の持続的な発展に向けて、県産品の輸出促進や観光誘客等により世界の活力を取り込むとともに、多文化共生社会づくりの推進や国際交流等を通じたグローバル社会で活躍する人づくりなど、**グローバル関連施策を総合的かつ計画的に推進**

位置付け

- 県総合計画の部門別計画
- 多文化共生の推進計画
- 日本語教育の推進計画
- 県民共有の指針

推進体制

- 推進本部による計画の進捗管理
- 海外拠点機能の活用
- 関係機関等との連携・協働

推進期間

- 2023年度～2026年度
アクションプランと
同じ期間（4年間）

主な本県の現状と課題

本県を取り巻く世界情勢

- 世界人口の増加、新興市場国を中心とした高い経済成長
- 新型コロナウイルス感染症等の影響とデジタル化の進展
- SDGs等への関心の高まり

本県の現状と課題

- 人口減少や少子高齢化の進行に伴う国内市場の縮小・労働力不足
- 増加傾向にある輸出の更なる拡大や輸出に取り組む県内企業の裾野の拡大
- 外国人住民の増加を踏まえた更なる受入環境の整備
- 世界における宮崎のネットワークの活用・拡大

目 指 す 姿

理念

世界の活力をとりこむ ～宮崎の強みを生かした外貨の獲得、ビジネスチャンスの創出
世界とつながる ～世界の宮崎ネットワークの活用・拡大による多様な分野での海外との交流拡大
世界と共にあゆむ ～全国トップクラスの住みやすさを生かした多文化共生社会の実現

3つの理念の下、3本柱の施策で目指す姿を実現！

施策Ⅰ

グローバル経済交流の強化

施策Ⅱ

多文化共生社会づくりの推進

施策Ⅲ

国際交流の促進とグローバル社会で活躍する人づくり

目指す姿

「挑戦」から「成果」へ 「共存」から「共生」へ

世界に開かれ、世界を舞台に躍動するみやざき

具体的な施策の展開

施策Ⅰ グローバル経済交流の強化

1 海外への展開促進	【取組例】	2 海外からの誘致推進	【取組例】
(1) 県内生産品の輸出の促進	◇デジタル技術活用による商品改良の支援	(1) 外国人観光客の誘致の強化・推進	◇海外市場のデジタルマーケティングの推進
(2) 関係機関と連携した海外進出による事業拡大への支援	◇EC等の新たな流通チャネルの活用 ◇企業等に対する現地の投資環境等に関する情報提供	(2) 「スポーツランドみやざき」の推進	◇国外代表チーム等のキャンプ誘致推進
		(3) 海外からの投資呼び込み	◇大都市圏における企業訪問等の実施
3 経済交流を担う人材の育成・確保	【取組例】	4 交流基盤の維持・充実	【取組例】
(1) 世界を視野にビジネスに取り組む人材の育成支援	◇輸出専門家による販路開拓に関する助言・実践機会の創出	(1) 航空ネットワークの維持・充実	◇ソウル線・台北線の早期再開に向けた要望活動の実施
(2) 外国人材の円滑な受入れ・定着促進	◇外国人材の就労・相談体制の充実 ◇外国人材の受入事業者に対するセミナーの開催	(2) 海上ネットワークの維持・充実	◇県内港湾の利用拡大に向けた貨物集荷の促進
		(3) 危機管理体制の確保	◇感染症に対応できる体制づくり

施策Ⅱ 多文化共生社会づくりの推進

1 外国人住民への支援	【取組例】	2 外国人と共生する地域社会づくり	【取組例】
(1) コミュニケーション支援	◇外国人住民向けの一元的相談窓口の運営	(1) 多文化共生に関する意識啓発	◇地域住民と外国人住民が相互に交流する場づくりの推進
(2) 生活支援	◇地域に居住する外国人への日本語学習機会の提供 ◇災害発生に備えた外国人住民支援体制の整備	(2) 地域ぐるみで外国人をサポートする環境づくり	◇インターネットや広報誌等を活用した意識啓発 ◇県と市町村との情報共有・連携を目的とした会議等の開催

施策Ⅲ 国際交流の促進とグローバル社会で活躍する人づくり

1 国際交流の促進	【取組例】	2 グローバル社会に対応できる幅広い人材の育成	【取組例】
(1) 諸外国・地域との相互交流の拡大	◇交流協定締結都市等との教育交流、民間交流等の促進	(1) 県民の国際理解が進んだ社会づくり	◇国際交流員等による国際理解教育の推進
(2) 多様な分野・主体による国際交流の促進	◇ブラジルからの県費留学生等の受入れによる修学等の機会の提供	(2) グローバル化の進展に対応した学校教育の推進	◇海外との交流事業の実施等による国際理解の推進
(3) 地域で暮らす外国人との交流の促進			◇ESD（持続可能な開発のための教育）の推進
(4) JICAとの連携などによる国際協力の推進	◇海外で暮らす本県出身者等とのネットワークの再構築とこれを活用した本県プロモーションの展開		
(5) 宮崎県人会世界大会を契機とした交流の強化			

成果指標

成果指標	当初値	目標値 (R8)	成果指標	当初値	目標値 (R8)
①輸出額	1,961億円 (R3)	2,275億円	⑥外国人住民が暮らしやすいと感じる割合	92.2% (R3)	100.0%
②農林水産物・食品の輸出額	187.5億円 (R3)	210億円	⑦外国人や外国の文化・習慣などに対する偏見や差別があると感じる県民の割合	10.3% (R4)	0.0%
③輸出に取り組む企業・団体数	185社 (R3)	210社	⑧外国人や外国の団体との交流・国際協力に関する行事・活動に参加したことのある県民の割合	14.0% (R4)	20.0%
④外国人延べ宿泊者数	1万人 (R3)	36万人	⑨県民のパスポート所有率	8.5% (R4)	14.0%
⑤国外からのクルーズ船寄港回数	0回 (R4)	50回			